

## 有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名「LCC 参入による地域への経済波及効果に関する調査研究」	
2. 有識者意見の概要及び対応 有識者：加藤 一誠氏 日本大学 経済学部 教授 手塚広一郎氏 日本大学 経済学部 教授 吉田雄一朗氏 広島大学大学院 国際協力研究科 教授 飯塚 秋成氏 東京大学 航空イノベーション総括寄付講座 特任准教授	
意見の概要	意見に対する対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査において「LCC 利用でお金が浮いた分をどこに振り分けているか？」という設問は恣意性が出ないように十分に注意すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>LCC 利用で浮いたお金の利用方法は旅行中以外で消費する可能性が高いことも考慮し、選択肢に「生活費にまわした」といった選択肢を入れることでアンケートを実施した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果から新規需要が示唆されている一方で、FSC からの転換も見られる。報告書の記載としては純増だけではなく、転換についても分析を入れるべきである、両面あることが経済構成上も妥当である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規需要、転換需要のそれぞれにおける旅行目的、消費額等の分析を記載した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>季節変動への影響分析について、利用者の多くが日本人であるため、お盆や年末年始等の時期の利用者が増えたことで、平準化がみられなかったが、今後訪日外国人客が増えると長期的には平準化していく可能性も記載してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地域では日本人需要の閑散期に訪日外国人を呼び込むことで需要の平準化を図っている例等もあることから、訪日外国人の増加や国内線利用の外国人増加が季節変動の緩和に寄与する可能性も記載する。</li> </ul>